

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III							
科目担当者	大内 健太郎 ŌUCHI Kentarō							
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年	
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>本講義の研究テーマは「会計的な視点による様々な社会問題に関する考察」です。会計の視点はモノやコトの価値を認識し測定することです。コストやリスクとリターンであるプロフィットやベネフィットの価値を測定し、比較することでプラスになる見込みならば実行し、マイナスになる見込みならば見送る、そのような会計的観点を使えることがビジネスでは重要になります。会計的な観点は社会的な課題においても成立します。</p> <p>本講義では専門演習Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を活用して卒業論文を作成していきます。報告予定を組み、進捗を複数回報告し、指摘事項を修正しながら完成させます。</p>							
授業の到達目標	<p>①結論を導くのに十分な量の先行研究調査を行う。 ②研究目的が卒業論文にふさわしい社会的動機を持つように表現する。 ③目的と方法が整合するように研究を作る。 ④研究目的に整合した結論を導く研究を作る。</p>							
授業計画・内容	1	報告スケジュール作成	16	報告スケジュール作成	2	報告・討議①	17	報告・討議①
	3	報告・討議②	18	報告・討議②	4	報告・討議③	19	報告・討議③
	5	報告・討議④	20	報告・討議④	6	報告・討議⑤	21	報告・討議⑤
	7	報告・討議⑥	22	報告・討議⑥	8	報告・討議⑦	23	報告・討議⑦
	9	報告・討議⑧	24	報告・討議⑧	10	報告・討議⑨	25	報告・討議⑨
	11	報告・討議⑩	26	報告・討議⑩	12	報告・討議⑪	27	報告・討議⑪
	13	報告・討議⑫	28	報告・討議⑫	14	報告・討議⑬	29	報告・討議⑬
	15	前期まとめ	30	まとめ				
授業外学修 (事前学修)	毎週最低2時間程度は卒業論文作成を進めてください。							
授業外学修 (事後学修)	報告で指摘された内容を考慮して論文の修正を行ってください。次回報告までに卒業論文の進捗と修正で1週当たり2時間程度分は研究が進んでいることを求めます。							
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応		
	報告の進捗度、研究の独自性、論理性、新規性を総合的に評価します。				100%	①②③④		
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合							
教科書	適宜こちらで用意いたします。							
参考文献	適宜こちらで用意いたします。							
その他								